



初任科第92期 風の時代

静岡県消防学校 初任科だより vol. 4

～第2回野外訓練～

8月5日（木）から6日（金）にわたり、第2回野外訓練を実施しました。本訓練は3部構成となっており、第1部で実践的応急はしご救助訓練、応急手当訓練及び搬送訓練を実施した後、第2部として富士マリンプールから消防学校まで約30kmの夜間強歩訓練を行いました。帰校後は、第3部として本校内を活動現場とした大規模災害訓練（要救助者の救出・トリアージ・搬送訓練）を行いました。第1回野外訓練（学校と浜石岳を往復する強歩訓練）よりも実践的かつ長時間に及ぶ厳しい訓練内容でしたが、離脱者が多数発生した第1回野外訓練のような結果にならないよう、全員で意識し訓練に臨みました。

しかし、第1部では、これから自分達が向き合う災害に対するイメージが足りず、認識の甘さについて、教官の指導がありました。この反省を活かし、第2部では出発時に実災害の活動を全員でイメージすることを確認しました。この結果、約20kgの携行品を背負う夜間強歩訓練でしたが、眠気や疲労、体の痛みに負けることなく、全員で完歩することが出来ました。

今回の訓練を通じ、災害現場で救助活動をする事の厳しさを痛感しました。残り約1か月半、本訓練で学んだことを活かし、どんな状況でも市民に対し辛い表情や態度は出さない、一人前の消防士となれるよう精進していきます。



（夜間強歩訓練）



（大規模災害訓練）

～実務研修～

7月12日（月）から16日（金）までの間、各所属の消防本部（局）で実務研修をしました。研修では、当直勤務やPA連携（救急車と消防車の出動）などの現場活動、火災調査や立入検査、救助訓練など学校ではできない経験を通じて、先輩職員から多くのことを学びました。一方、資器材の扱いに慣れていない自分たちの未熟さを痛感しました。

私達は約1か月後に初任教育を修了し、各所属に戻ります。出動指令が入ればすぐ現場に向かい活動しなければなりません。研修期間中に、熱海で発生した土砂災害の現場で活動した学生もいました。先輩たちを目標に、残りの学校生活で自分たちは何ができるのかを考え、できるだけ多くのことを訓練で吸収して各所属に戻っていきたいと思います。

発行日：令和3年8月25日 発行元：静岡県消防学校
制作：静岡県消防学校初任科第92期文化委員
富士消防 城内 富士消防 吉田 御殿場消防 當房